

2019MFJ 全日本スーパーモト選手権第3戦 エビスサーキット参戦レポート

MFJ 全日本スーパーモト S10Open クラス#17 薄井保彦

6月16日福島県恵比寿サーキットにて開催された全日本スーパーモト第3戦に参戦しました。

前日の15日にサーキット入りをして、前日走行。エビスサーキットでの全日本戦は毎年梅雨時期の6月開催なので雨のレースが多いです。そして今回も雨。予報では決勝日の午後には一旦止みそうですが、走る側からするとコンディション変わるよりも雨なら雨で降り続けてくれた方が楽です。

個人的に雨のレースが好きなものもありますが…

前日走行は雨の為、3か所設定されたダートコースのうち第3ダートがキャンセルになります。

去年は粘土質の第3ダートを予選まで使用して転倒者続出で危険とみなされ決勝でキャンセルになった経緯があるので今回の判断は賢明だと思います。

今回のレイアウトはスタートして鋭角に右コーナー、その後左右に大きなS字コーナーもう一度左登りコーナーから直線の第1ダート。ダートから一度ターマックに戻りすぐに第2ダート。ここは長目で軽く左に曲がります。第2ダートの出口はアスファルト上にシケインが設けられていてここが滑りやすく難しいポイント。その後は5速まで入るストレートから下りS字を左、右、左で最終コーナーそこからホームストレートに戻ります。

前日走行はとにかくダートのラインの確認とダートの乗り方をいろいろ試します。

大崎監督のアドバイスが効き以前なら帰りたくなるようなコンディションのダートコースも楽しく走れます。

ただし、これは練習だからの話でこのコースでタイムを詰めたり、バトルしたりといった状況では気持が全く違ってくると思います。

また、左に曲がったダートコースは徐々に轍ができ始めどんどん難しくなります。

20分×4本の前日走行はダートで数回転倒もありましたがトラブルなく無事に終え、マシンを整備して宿に向かいます。

16日レース当日。朝目覚めると外は土砂降りの音。

雨レースが好きとはいえ気持ちいいのは晴れ。少し憂鬱な気持ちでサーキットに向かいます。

サーキットに着くと雨は少し小降りに。前日に履いた中古レインタイヤをリアだけ新品に交換して公式練習。

タイム出そうとすると途端に第2ダートが難しくなります。少しでもハンドルに力が入り変な入力をするとうすぐフロントのグリップを失いバイクがどっかに行きそうになります。

前日走行ではダートは外側のバンクも使ってみました但しタイムを出すならバンクは使わない方が良さそうです。

ただ、そうすると轍の中を走らなければならず転倒の危険が増します。

タイムアタックはダートがうまくいかなかった周回は最終コーナーを大きく取り、計測地点でスピードが乗るようにして次の周にタイムアタックをします。3周目にうまくタイムが出せて8番手ポジションのサインボード。

さらにタイムを2回詰めるも周りもタイムを上げているのでポジション変わらず結果8番手。

今期ベストグリッドです。

雨も止む様子がなくここでフロントに新品レイン投入。

6週のヒートレースは3列目の真ん中グリッドです。スタート後、右鋭角コーナーの後左コーナーなので1コーナーはアウト側に振って、スタート直後のトラブルを避け次の左コーナーでインに入る作戦です。



ヒートレーススタート。スタートタイミングは普通。ただ、イン側開けているので数台がイン側に入ってきます。

ここは想定内で慌てずアウト側から1コーナー。すると並走している選手のインに次の左コーナーで入れポジションは8位キープ。その後第2ダートイン側から抜かれ9位に落ち、またダートで抜かれ10位。ダートはもっとプッシュはできますが、転んだらすべて台無しなので予選とは違い慎重に走ります。

最終週のダートでさらに1台に抜かれてしまうも転倒者もあり9位でチェッカー。



最後に抜かれたのはダートで気持ちが慎重になりすぎたのが原因で完全にポカミスです。

ヒートレースから3時間の空き時間を挟み決勝レース。雨も止み風も出てきてターマック上は完全ドライ。

ただ、ダート区間は相変わらずのマディーコンディション。

タイヤ選択に悩みますが、フロントを中古レインに戻し、リアはスリックを決勝開始15分前に決断。ぎりぎり

までタイヤウォーマーをかけて決勝に挑みます。出走直前に去年まで同クラスで今シーズンは S2 クラスを走っている馬場選手にダートのラインを聞くと2つのダート共、イン側ぎりぎりが良いとアドバイス。

コースインとサイティングラップではダートはリアスリックでも馬場選手に聞いたラインは荒れていなく問題無く走れますがむしろダート後の土を引っぱったターマックがレインタイヤ勢に比べ厳しいです。

スターティンググリッド3列目は変わらずですが、一つ右になってしまいヒートレースで使った作戦は使えそうにありません。

そして少し雨が落ちてきます。リアスリックは少数派。雨が本降りになったらアウトです。



決勝スタート。タイミングはよかったのですが2列前グリッドの増田選手のマシンがストレート後半で大きく振られだします。転倒を避けるため直後の自分達はラインを左に修正。結局増田選手は持ち直しましたが、余計な動作をしたせいで順位は大きく下がります。

巻き返しを図るべくスリックタイヤなのでターマック上はプッシュして前の選手を追います。そして第1ダート進入でリアに衝撃が、ラインを大きく外してしまいましたが転倒せずに復帰。順位キープのまま次の周に入ったところで赤旗です。



先ほどの衝撃で自分に当たったのは大野選手で、実は他の選手に追突されていて自分のバイクと追突されたバイクに挟まれてしまい負傷してしまった模様。かなり痛そうにしています。

レースは周回数 10 周のまま大野選手リタイヤで仕切り直し。



コースがクリアになり再度レーススタート。雨は強くなってきました。2 コーナーでインに入れず出遅れたところ次の左でまた転倒者。頭を打ったようで動いてません。で、再度赤旗中断。転倒した選手は大事には至りませんでした。が手を負傷しリタイヤ

路面は完全にウエット。間に合わない危険もありますが急いでリアをレインに交換。

チームの力でタイヤ交換も間に合い 3 度目の決勝レース。周回数は 8 周に。雨は本降り。スタートではもう集中力が切れかかっています。



何とか集中してレーススタート。集中力が切れているのは他の選手も同様。1 度晴れてからのヘビーウェット。

1 ～ 2 コーナーで数台が接触。イン側ギリギリでかわして 6 番手。ダートは今までで最悪なコンディション。少しでもハンドルに入力があればフロントが滑り出し、アクセルを開けるとカウンター状態になります。実は最初の決勝のサイディングラップではダートで転倒しています。そんなトラウマもありつつ、ここで転倒するとせっかくの 6 位がパーになってしまいます。

ホームストレートに戻ると前の選手は離れていますが後ろの選手との差は + 2 秒の表示。みんな一緒だな。なんて考えながらも得意なターマックではダートでの遅れを取り戻すべくプッシュして走ります。

前はどんどん見えなくなりますが後ろとの差も + 3 秒、 + 4 秒と増え安全圏内に。

ただ全日本はここで気を許すと一気に追いつかれるので後ろは見ずに全力で走ります。

ダートは転ばないので精一杯。馬場選手からライン聞いていなければもっと厳しかったでしょう。

サインボードはラスト 3 周。あと 6 本のダートをミスなくクリアすれば終われます。

あと 2 周、ファイナルラップ、チェッカー。

無事 6 位でレースを終えました。

2年ぶりの入賞です！サバイバルレースになりましたが、なんとか走り切れました。

目まぐるしく変わるコンディションの中、マシンもノントラブルで信頼して不安なく走れました。

こういうコンディションだとハスクバーナの軽さとクロモリフレームのしなやかさは体への負担が軽く後半も体力を維持して走れます。

6位で満足してはいけないのですが、今回は精一杯でした。

応援していただいているメーカーの皆様や毎回応援に来てくれる友人、チームとどれを欠いてもレースを続けられないと思います。

久々の入賞で感極まっておりますが、本当に応援ありがとうございます！

次戦広島はキャンセルで次は8月のスポーツランド SUGO です。

SUGO は一番得意なコース。この勢いを維持して全日本のレースでは初の表彰台を目指して調整していきます。

引き続き応援よろしくお願いします。